

**○ 自由記載（医師 医療機関）※代表的なものを記載**

問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

E 特になし等 5件  
その他 7件

点眼薬を眼周囲にこぼし、多数の本数を希望する患者がいる
自分で服用を調整する患者がいる
眠剤や抗生剤、冷湿布剤を保険適用を上回って、しつこく要求する患者がいる。
かかりつけ医として時々服用中の残薬を持参してもらいチェックしているが整理は難しい。
医科で、たくさん服用されている方の飲み合せに当方が熟知できておらず、心配で、処方箋をだせない時がある。

問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。

E 特になし等 11件  
その他 25件

常に薬剤師から疑義紹介があり、こちらからも薬に関して薬剤師に問い合わせをしています。
薬局と定期的に患者さんの病状、薬の使い方、新薬について会合をもっているので、薬の服薬状況がよくわかり助かっています。
薬剤師が余計な事を言う時がある
患者さんの都合で、いろいろな薬局に処方せんを送り、よくわからない時がある
門前薬局であり、医薬分業でない
他の医療機関からの処方内容と実際の服薬状況を把握する。
薬局の名や場所は把握しているが、顔まで見えないのがちょっぴり不安。
・かかりつけ薬剤師としての機能につき、患者さんは情報されていない（知識が無い）（知らない）
・処方した薬が調剤薬局に無いと別の薬局でもらうことになり複数の薬局がかかわることになる場合がある。
副作用などどの程度説明しているかははっきりしない
特に日よう日に困っている

問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。

E 特になし等 21件  
その他 23件

薬剤師の方に教えてもらうことも多く、薬のみあわせ、半減期等、Telにてよく薬剤師さんにたずねています
薬剤師さんの仕事の内容がわからない。
調剤業務が忙しく、患者の話を聞く時間がないのではと考える。不十分な時間では中途半ぱになって、病気のことを聞かれる。よけいに患者が困惑することもあると患者の立場になると感じます。
減薬の努力
病名、病状を細かく聞いて患者に嫌がられる薬剤師も居る
繰り返すが、門前薬局であり、医薬分業でない
薬局（薬剤師）がその使命を果たしているとはとてもじゃないが思えない。単に薬剤名を（しかし非常に小さな文字で）印字しているだけである。他に服薬の有無等も尋ねていない事の方が多いようだ。医薬分業の本質からは大きく逸脱している。（現行では）
資質の差が大きい（門前薬局の薬剤師は優秀です）
頻回に顔を合わせることも重要である。
服薬指導の書類は送ってくるが施設に入所中の人に必要なのか疑問の時がある。
副作用を重点的に説明して服薬を中止するケースがある
病気そのものの理解度を深めてください。
医薬分業でメリットはありますが、お金がかなりかかっています。そこが問題です。

問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。

F 特になし等 1件  
その他 11件

薬剤によっては使用方法等を十分患者さんに教えてほしい
減薬
自分で服用を調整せず、指示通りに服用する様徹底して欲しい。
余裕があれば患者宅へ訪問し、本当に服薬しているのかどうか確認して欲しい。
時代に逆行しますが、患者さんが受診されている間は時間に関係なく必ず薬局を開けていて欲しい（薬剤師が居て欲しい）と思います。
禁忌（併用）のチェック
薬手帳の副作用の有・無も記入なく、薬剤師は何もやっていない

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。

D 特になし等 10件  
その他 3件

相手の仕事の内容がわからない。
手帳はシールを貼ってあるのみ
24時間365日の薬剤師・薬局との連携が可能となること

問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後  
に望むことなどを自由に記入してください。

特になし等 10件

その他 36件

ひきつづき、今のように何でも話せる環境でいてください。

医師に聞けなかったことを薬局で聞けたり患者さんのメリットはあると思います。処方提案も適切にさせていただく機会があり医師としてもありがたいと思うことがあります。

薬剤師ともっと連携したい。

顔がみえないので不安です。連携している薬局は安心ですが、公的病院からのつながりの薬局へ行かれています。お互いの仕事の流れがわからないと思います。

県としてジェネリックを増やそうとしているが、薬局によっては一般名やジェネリックで処方しても先発しかない時がある

かかりつけ医と言う前に、真のかかりつけ薬剤師を制度化すべき（患者は、門前薬局ごとに手帳をたくさん持ってくる）

院外処方を円滑に行なうため薬局間で薬剤情報を共有して欲しい。

無理に、現在在庫のある薬品への変更をすすめないで欲しい。（特に商業施設に入っている薬局など）

薬局によって対応が様々で、十分な説明ができているところとそうでないところがある。処方ミス指摘（容量等）してくれることもあれば何も連絡がないところもある。

- 一、当方は小児科単科のため多剤併用がそう多くないため、現在の状況で満足しています。
- 一、他医院との薬の内容は必ずお薬手帳で確認しており、又薬局でも必ず相談するように患者さんに指導しています。
- 一、定期的に薬局、薬剤師さんと会合をもっているため個々の患者さんの希望や不安、又、新薬や、禁止薬剤の情報はそのときによく勉強させてもらっています。

薬剤師の人件費↑しすぎでは

複数の医療機関に通院している場合、それぞれの門前薬局を利用していることが多く、かかりつけ薬局の利用推進が充実すれば良いと思う。

県内の薬剤師の充足!!先ずはそこからだと考えます。

処方薬をもらいに行った患者にサブリをすすめるのを止めてほしい

①患者さんも何軒かの薬局で薬をもらっており、おくすり手帳も持って来ず、投薬内容が分かりにくい人がいる。②薬局、総合病院で処方された薬を全部持ってきて当院でも、それらの薬の説明を希望されるので困っています。

1. 外来処方での複数の医療機関からの多剤処方の問題

2. 抗菌薬では、外傷時のケフレックス等の安くても標準薬であるべき（他に犬、猫咬傷時のオーグメンチン等）を外来薬局に備えるような配慮をお願いできれば幸いです。

現在の院内処方、院外処方等の制度、かかりつけ薬局、かかりつけ医等についての制度等について、まずは患者さんに知ってもらうことが一番です。

ジェネリックの信頼性などの情報がほしい。

患者さんの背景や理解度などを考えての説明をお願いしたい。（誰にでも同じことを言うのではなく、相手が分かっているかということです）また、患者さんの薬局での直接の声を教えてほしい。お互いに共有することで今後の反省や改善に役立つと思う。

薬剤師→医師へもっと気軽にこう処方したらどうかなど提案してほしい。薬剤師外来はとも良い。

医師の前では言わない事を、薬剤師さんには言っている時があるようなので、そういった患者さんの要望を知らせてくださると助かります。

医師の裁量にて、保険病名をレセプトに記載して処方した薬に対して、院外の窓口で、その保険病名で説明されて、クレームがある事があるので困る場合がある。（当院のいつもの保険薬局を利用してくれれば説明してあるのだが、他所で薬受け取られた場合に困る）

・訪問薬剤師を増やしてほしい・医療用麻薬をあつかえる薬局を増やしてほしい（地域で少ないとも一店舗）・薬々連携をすすめてほしい（ICT導入）・症例検討会の実施 etc.

最もお願いしたいのは残薬管理です。短い診療時間の中にきちんと薬を服用しているかどうかをチェックすることは困難です。

**○ 自由記載（歯科医師 医療機関）※代表的なものを記載**

問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

E 特になし等 4件  
その他 8件

持らっているが飲んでいない。
嚥下機能に悪影響のある薬剤の服用。
特にBP製剤を服用している患者の理解度
抜歯等の外科処置が必要な患者様へのBP製剤投与によるBRONJ（顎骨壊死のリスクの認識が乏しく、処置に困難を来す症例がある。
薬剤関連顎骨壊死の原因となる特に注射薬の使用状況が歯科医師にもよくわかる体制の強化が必要。
薬の乱用が原因かと思われる。薬の副作用による唾液分泌低下し、口腔乾燥により咀嚼・嚥下障害による歯の疾患と誤嚥性肺炎の増加が心配である。

問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。

E 特になし等 3件  
その他 5件

カンファレンスへの参加機会が殆んどない（歯科側の問題）
事実上、経営が同じ医院と薬局（門前薬局）がほとんど
ゾロ（ジェネリック）製剤について意識（相方）
薬局（薬剤師）から処方内容（種類、多数→少数）を変える事はいえないのでは

問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。

E 特になし等 5件  
その他 22件

よくやってくれている
あまり接点がないので資質についてはわからない。
まず薬剤師さんとの接点がなく、服薬状況や変更依頼の問い合わせに関しても、ケアマネさんを通じて、もしくは医師、看護師さんに聞くことが殆んど。
薬局によって対応（患者への）が違う。
骨粗鬆症や抗血栓療法で投薬を受けている患者さんで抜歯に際し、注意する必要がある患者さんが、説明を受けた事がない人が非常に多い。
服薬実態を把握してほしい。
投薬内容や、処方せん指示に対して、意見を述べることの出来る人材育成を望みます。
といあわせ先を医師の方にとたらいまわしにされそう
薬剤による対症療法でなく、栄養指導や生活習慣の改善により薬剤による副作用が減少することを期待しています。
専門知識を充分におもちの方は多くおいでだと思います。それをぜひ臨床の現場で役立てていただきたいと思います。

問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。

F 特になし等 0件  
その他 6件

薬局さんは、頑張っていると思う
抗血栓や骨粗鬆症で投薬を受けている患者さんに歯科治療（抜歯）の際の注意点を説明してほしい。
歯科受診予定がないかなど患者さんに聞いていただき、その際必ずお薬手帳を持参する様促して欲しい。
サプリメント等や他の代替療法について関心を持って頂ければ幸いである。
多剤併用の害についてのけいもう活動

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。

D 特になし等 1件  
その他 3件

歯科向けのお薬情報提供ツールの作成など
---------------------

問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後  
に望むことなどを自由に記入してください。

特になし等 4件

その他 28件

異なる医療機関から効果の重複する薬が出されているので減らせないか問い合わせなど積極的にした方がよいと思う。
各科への連携がないこと。
近所の薬局であれば連携しやすいが、知らない薬局薬剤師とは連携しづらい。
もう少し連携の機会を増やしてほしい。
不適正な処方最後のチェック機関としてもっと発言していただきたい。期待しています。
薬剤と口腔乾燥の関連についての情報提供等をしてほしいです。
医院・歯科医院と薬局を、完全に独立させる。☆門前薬局を規制してほしい
残薬はあまりに多いと思われる。
お年寄りの複数病院受診の為の服用薬が多すぎる様に感じます。
抜歯処置の障害になる薬 1. 骨粗しょう症予防薬（ビスホスホネート薬） 2. 脳血栓予防薬 情報提供してほしい。
歯科医師としては、抗血栓薬とBP製剤について医師さん・薬剤師さんと相談できると助かります。
熱心な薬剤師と、無関心な薬剤師の温度差が著しい。
患者が服薬している薬剤と併用禁忌なものをわかりやすく周知してほしい。
歯科で処方する薬はある程度限られてきて、出すたびに患者から併用して大丈夫かときかれる。それを、こちらである程度判断はするが全てを判断できないのでQRコードつきのおくすり手帳にして併用不可の薬など判断できるようにしてほしい
問11に対して、高齢化が進む中で、さらなる強化がいずれの設問に対しても重要。三師のより強い連携が必要と考えます。問診してもよく理解できていない方は多い。
薬剤師にではなく行政になのかもしれないですがお薬手帳というアナログなものではなく、個々の服薬状況をデータとして、医療機関が情報を共有できるようにしてもらいたいものです。
門前薬局は二重手間だと思えます。問い合わせも、結局処方する医師にするようになります。
地域連携については、歯科より薬局さんの方が頑張っていると思えます。むしろ歯科からアプローチしていくべき。
地域で医療機関の処方ミス（例えば腎不全患者へ成人量を減量せず処方するなど）を、薬剤師、薬局が検出し、防ぐなどの連携を望みます。
体調、病状は医者と相談しているのでいちいち薬剤師に言いたくない人が多いと思う。いちいち病状を聞かれるのがめんどうくさい

**○ 自由記載（病院薬剤師 医療機関）※代表的なものを記載**

問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

E 特になし等 0件  
その他 3件

認知症患者、超高齢患者の服薬管理困難

理解度の低い患者様が多いが、すべて院内管理のため適正使用できている。

消炎鎮痛剤を痛くないから飲まなかったとか、薬は飲まない方が体に良いと思い飲まなかったと自己判断する患者がいる。

問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。

E 特になし等 0件  
その他 6件

病院薬局からは地域の薬局にTELにて問い合わせしますが、門前薬局以外の薬局から問い合わせなどなく、もっと情報を交換し患者様がよりよい在宅生活を送れるようにしたいと思います。

門前薬局とは、連携がとれているが、他の薬局とは情報共有する機会がなく、手帳に記載することのみとなってしまう。

医療機関（医師）からのアプローチがなければ薬局薬剤師は連携しない。

当院の薬局と門前の調剤薬局との交流、連携ができていない。

問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。

E 特になし等 0件  
その他 8件

外来患者にのみBが当てはまる。門前に調剤薬局ない為、連携が難しい。

薬局や、薬剤師によってはバラツキはあると思われますが、基本的に他の職種より、マジメでしっかりした対応ができる職種であり、信頼はしてもらえます。ただ調剤薬局においては圧倒的に、患者情報が少ないので判断が難しいと思います。

薬局薬剤師はOTC薬や健康食品、化粧品等に通じており、医療機関とは一線を画す部分がある。

薬剤師は問い合わせに対し、調べ返答すると思うが、他職種に薬剤師に質問しようとする認識が少ない。薬剤師の資質の問題ではなく他職種の認識の問題ではなからうか。

病状については医師より、日々の注意点は看護師から指導があり、薬剤師は、現在服用している薬の注意点のみであるので、患者さんが、どれだけ必要としているか、疑問に思う事がある

薬剤師の数が不足しており、十分な指導ができない。件数も少ない。

問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。

F 特になし等 0件  
その他 3件

お薬手帳の記載の徹底。お薬手帳を持ち歩くよう患者へ促進してほしい。

患者さんの有益となる情報を、病院にフィードバックしてほしい

多剤併用の是正。

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。

D 特になし等 0件  
その他 0件

問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後  
に望むことなどを自由に記入してください。

特になし等 1件

その他 16件

連携管理加算の具体的な方法がわからない

向精神薬を複数の医療機関よりもらわれている患者さんがみられる。連携でなくしたいが  
中々難しい

退院時に、入院中におこった患者様の状態（薬の終了、中止、変更等の理由、回復状態、  
副作用等）の出た薬の情報を、退院後に、かかりつけとなる薬局薬剤師に情報伝達しない  
といけないと思うのですが、現在のところ不十分な状態です。

・薬薬連携強化につながる、オンラインサービス等の体制の構築が必要。  
・他院処方薬への確認を行うときは、病院に直接問い合わせをするので調剤薬局へ問い合  
わせを行うことは少ないです。そのため、地域の薬局との関係はそこまで密に連携できて  
いる感覚はあまりないです。

お薬手帳によって他院の薬を確認することで、処方量を減らせることは時々あるが、まだま  
だ十分に活用できていないと思う。お薬手帳以外で処方履歴が共有できるようになると良  
いと思う。

日頃から話しやすい関係を保ち緊急時等でもスムーズな対応ができることを望みます。

入院される患者様に対しいつも思うのは、お薬手帳をもっていない、あるいはかかられて  
いる病院ごとにならぬお薬手帳をもっているなど、お薬手帳の意義、使用法を十分理解し  
ていない方がまだおられます。調剤薬局さんでお薬手帳の正しい使い方、なぜこれを携帯  
するのかをしっかりと説明し患者様に理解していただきたいと思えます。

つながりがまだまだ弱い所があるので、しっかりと情報共有できる環境作りが必要。

地域の薬局としては、処方された薬の説明だけでなく、食事面や生活面をどうしたらいい  
かをサポートしていただけるように望んでほしいです。

・お薬手帳の有効利用 ex) 処方内容貼付だけでなく特記事項も記載していくお薬手帳の様  
式を決め統一する

・保険薬局から保険医療機関への疑義照会・情報提供のラインを作る

「患者さんのために」という目的のため、他職種との連携や、臨床に強い薬局薬剤師に  
なってほしいです。院内・院外薬局の薬薬連携の充実をさせていく事（できれば☆病院薬  
剤師の院外処方せんの発行時確認業務などを点数化してほしい）が重要です。

薬局薬剤師と日頃情報を共有する機会がないので、そのような場があればいいと思う。当  
院に入院する予定が分かっている患者について、入院後注意確認が必要なことがある場  
合、その旨について情報提供してほしい。

処方せん調剤に偏り過ぎているので、薬局は今後、よりセルフメディケーションの強化を  
目指すべきである。

特に問題はないが、地域の薬局（薬剤師）と情報共有する機会があれば、連携の強化にな  
り、患者様に適した機能を有する薬局へ紹介することができる。

**○ 自由記載（理学療法士 医療機関）※代表的なものを記載**

問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

E 特になし等 0件  
その他 3件

薬の飲み忘れてたまっている。医療費のムダ  
手指の麻痺による服薬に支障のある患者がいる

問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。

E 特になし等 0件  
その他 3件

カンファレンス等にてコミュニケーションを取る機会はある。  
院内（入院中）ではカルテ等で確認できるが・・・

問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。

E 特になし等 2件  
その他 1件

患者とのコミュニケーション能力の低い薬剤師が多い

問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。

F 特になし等 0件  
その他 0件

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。

D 特になし等 0件  
その他 1件

ポリファーマシーによるフレイルの患者が入院しているなどリハに関する事は教えてほしいです。

問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

特になし等 2件  
その他 10件

様々な取り組みの成果が浸透してきていると感じています。継続をおねがいたします。

理学療法士は、薬剤師と特に接点が少ないと思います。今後薬剤等について、情報提供をして頂けたらと思います。

連携よりかかりつけ医（薬局）が必要

・デイケアの利用者の方から薬の事を聞かれる事があるため、理解しやすいような工夫または説明を出来ればしてほしい。

・また、リハスタッフに知っておいてほしい薬の知識があれば教えてほしい。

健常成人に対するお薬手帳は必要？持っていないければ、20～30円負担が高くなる。

ポリファーマシーに関する多職種連携の重要性を、薬剤師をはじめとしてコメディカルがもっと知れるような研修会を行ってほしい。

在宅療養されている患者様の服薬の徹底をする必要があると感じているが、1日数回を毎日の事であるので現実的に課題となっているため解消法が必要だと感じる。

RAやDM患者などリハ対応する上で薬剤に関する知識も必要になるので、院内で実施してもらっている学習会にセラピストも積極的に参加するべきだと思います。

患者の療養中の状態を実際に見る事をしてほしい

もっと患者様が身近に感じられる薬剤師であってほしい。

**○ 自由記載（薬局）※代表的なものを記載**

問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

E 特になし等 0件  
その他 3件

自己判断により、中止やコントロールされる患者がいる。
医師に聞くから良いと言って、薬剤師のアドバイスに耳を傾けてくれない患者がいる
自己調節している。複数の手帳を持参し、他科薬がわかりづらい
胃薬やビタミン剤、睡眠導入剤などの一部の医薬品では症状の有無にかかわらず漫然と投与が継続しているケースが多く、疑義照会でも追いつかないケースがある。
お薬手帳を何冊か持っていると思われる患者がいる。「出してください」と言っても出さない。
自宅での残薬の溜め込み

問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。

E 特になし等 1件  
その他 11件

連携できていると思う
かかりつけ医が明確でない。(内科, 整形, 耳, 大学等) 多科受診が多いため。
他の医師からの引継で処方されている薬が漫然と継続されている場合、それにより体調が悪化していても、患者自身が医師に相談するか、専門の医師に受診する意志がないと、薬剤師側から医師の処方に異議を唱えるように思われかねず薬剤師から医師に提言しにくい場合がある。
在宅服薬指導の際は、DR, NS, 介護職と連携は可能
以前に比べだいぶ増えてきましたが、まだ多くはない。こちらからの発信もあまりしていない。
通常業務や在庫管理、薬歴の記載、在宅業務などに追われ時間の確保が容易でない。
講習会でなく実習会の様式で行って欲しい(様式を含めて)
どの程度から連絡を取り合うべきか、判断しかねることも多い

問3 薬剤師の人材育成等の現状で、あてはまるものはどれですか。

E 特になし等 1件  
その他 9件

そもそも院外処方率が低く、高額薬剤は院内処方に限るなどの手段の病院が多く、薬局薬剤師の活躍の場は限定されている。
年齢的に体力がなく、在宅を積極的に行う自信がない
研修会参加はできている薬剤師としていない薬剤師の差がはげしい
在宅患者を薬剤師会などが均等に振り分けるようなしくみが必要だと思います。
業務に追われ時間がない
病院薬剤師が日常的に行っている業務で、今後薬局、薬剤師にも必要と思われる業務の研修(在宅などで必要)例えば、モルヒネのミキシング、携帯型ディスポーサブル注入ポンプのプライミングなど
otc等物販業務が半分以上占めているため時間の捻出は難しい。夜間、休日も開局しているため、研修会の参加が難しい
開催していただいても、平日昼間～夕方だと出席が不可能
薬剤師自体の人員不足あり

問10 医師・看護師など他職種に行ってもらいたいことをお教えてください。

D 特になし等 1件  
その他 8件

医師他他職種より、患者さんに薬剤師による薬の管理等の必要性を話してほしい。
病院での抗がん剤の注射剤の治療内容（薬剤名）を薬手帳を通じて共有してもらいたい
処方変更、追加時の理由が分れば助かります。メモや備考欄に手書きでも可。ご本人が理解しておらず、詳細が分からないまま変更となっていることがあります。
お薬手帳等にでも医師、看護師さんは記入する時間もない。急ぐときには電話してくる。
入院から在宅訪問へ移行するときの情報提供してもらえるとうれしい。
クラウドでのデータ共有
退院時残薬状況や退院時処方投薬日と処方日数などを教えていただけるとありがたいです。（眼科であれば、薬の制限の有無など）

問11 薬剤師や薬局が多職種と連携をすすめるために、今後充実してほしいことをお教えてください。

D 特になし等 1件  
その他 7件

顔の見える小規模のミーティング
退院時は等の節目での多職種カンファレンスの充実
実際の在宅への移行がどのように行われているのか、患者支援センター（病院内）の具体的な流れを知りたい。問い合わせを受けた実績がない為
処方提案できるほどの力（能力）がまだまだないのが現状か
お薬手帳の活用
患者情報共有アプリなどを活用できる環境づくり

問12 薬剤師は、充足していますか。

E 特になし等 0件  
その他 8件

数はいるように思うのに、実際現場では足りていないように思う
経験豊富な薬剤師がいない。1日フルで働ける薬剤師が少ない。
求人条件のマッチングが難しい

問14 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

特になし等 5件

その他 32件

Drや、ケアマネージャーやヘルパーの中で能力差があり、計画立てても、スタッフ側の要因で訪問日が増えることがある。ケアマネージャーが居宅の算定の仕方を理解しておらず、たびたび初歩的なことでTELがくるのが迷惑。
調剤薬局は処方箋がないと入れないという認識を変えるようなアピールが必要。健康サポート薬局が根づくように、薬剤師一人ひとりの努力が必要。地域社会へのアピールも必要。
在宅に関わっている薬局に偏りがあるように感じています。薬業連携が進んでいないと思うので、病院と薬局の薬剤師が関われるような研修があればと思います。
抗がん剤の注射剤の薬剤名の共有は必要だと思っている
薬局の機能強化には、病院薬剤師との連携が不可欠ではないかと思っています
お互いの薬局間での連携の勉強会をしてほしい
書類作成や事務的業務が増える一方で、新しい業務や取り組みを実践する余裕がないと感じます。
休日（日曜日）に営業している薬局が増えてほしい
かかりつけ薬局として地域に貢献していきたい
日常の業務が忙しくなかなか在宅や居宅指導まで取り組むのが難しいのが残念です。もう少し地域とのかかわりが増えていくためには必要だと思いますが今は2件しか実績がないのが現状です。
日祝を対応する薬局が限られている。麻薬の譲渡はグループ内に限るが、もう少し拡大出来たら不良在庫が少なくなる。在宅において、急を要しない外用薬の届け等が、夜間、自己負担のない患者に多く見られる
対人業務の充実を今まで以上に行っていく事で、薬剤師の意義を患者や多職種の方々により知ってもらいたい。
地域住民の相談所としての薬局でありたい。そのためのツールなど整備していきたいと感じています。
問い合わせや相談等に対応しているのは、処方箋を持ってこられる患者様に限定されている。今後は地域住民の方が気軽に相談できる薬局であることを皆様方に知って頂きたい。
今後在宅介護が増えていくと思われる中、薬局間や他職種との連携は不可欠であると考えます。県の事業としてこの連携が強化されていくことを期待しています。
退院後、もしくは緩和ケアの患者の在宅訪問は知らぬ間に流れが出来ており、日頃調剤を受けていても、在宅（施設を含む）に移行していることも知らないケースが多くある。
地域の薬局間の交流があまりない様な気がする。薬剤師会での地域交流はあるが、一部の薬局であり、県主催の交流会のようなものがあればもっと連携が深まるのではないかとと思う。
薬剤師の中にはロールプレイングなどを苦手とする方が多いような気がする。チェーン薬局等では、身内なので気軽に話せる。
独居老人の方で、昼、夕食後の薬を飲むのを忘れていて、そばにいる人が、訪問看護さんとかに気をつけてもらったりして、デイに行った時に、便秘の薬を意識して飲んでもらって少し、便秘が改善してきている。そばにいる人の声掛けが大切だと思いました。
地域における多職種連携と敷地内薬局は矛盾するのではないかと感じています
訪問薬剤管理指導を始めるのが難しい
地域間での多職種、薬局同士の情報共有等のツールがあったら災害時などにも役立つと思いました。
利益最優先で行われる薬局運営のスタイルは無理がある。サービス残業量が膨大で体力が持たない。家庭崩壊を招いている薬剤師が多い。これらの理由もあり、なり手がいない。
人員が十分にいれば在宅訪問へ手が出せるが、現状として余裕がないので連携なども難しい状況である。他の薬局はわからないが、対応できる状況になればしていきたい。
日頃、他職種の方と関わるのが少なく、患者の情報が十分に把握できていない。なにか、定期的に交流できる場があれば良いと思います。

**○ 自由記載（訪問看護師 訪問看護ステーション等）※代表的なものを記載**

問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

E 特になし等 0件  
その他 4件

1包化しないと服用忘れが多い。

医院のみ受診している方の薬情報がわからない方がいます

服薬状況が管理できる仕組みが必要。処方元への服薬状況の報告や服薬管理の評価など。

麻薬の使用、コントロールに問題のある利用者がある。

問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。

E 特になし等 1件  
その他 3件

神山町とは連携し、薬局の方が指導も連絡もしてくれます。

様々な情報共有システム（バイタルリンクや紙面など）が活用されているが対応できる調剤薬局が限定的であり、更なる拡大が期待される。

情報共有できるのも、ケアマネさんのかかわり方にも大きく影響を感じます。現在は問題なし

問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。

E 特になし等 2件  
その他 7件

TELすると忙しいのかきつい人がいます。かけにくいです。

薬剤師間での情報共有が不十分と感じられる事がある。

在宅患者訪問薬剤管理指導に当たる薬剤師は、他のサービス担当者同様、生活の視点を持っており、連携する上で非常に頼りになる。

連携の機会が少なく、どれだけ在宅のことを知ってくれているかがわからない

問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。

F 特になし等 0件  
その他 1件

多職種連携

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。

D 特になし等 0件  
その他 1件

在宅医の存在は大きい

問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後  
に望むことなどを自由に記入してください。

特になし等 1件

その他 9件

連携できると大量の残薬を押し入れに入れている人の薬も何とかできるのではないかと感  
じております。

医院、病院と薬局（薬剤師）の間の連携が上手くいっていない所で、訪問看護が加わろう  
とするも、更に上手くいなくなる事例がある。まず医療機関と薬局が連携を密に図って  
もらいたい。

現在連携をとっている薬局（調剤）の薬剤師さんは、当方の服薬管理の際に問題が生じ、  
相談を度々させて頂いていますが臨機応変な対応でこちらの無理な要望にも応えていただ  
き非常に助かっています

薬剤管理（輸液含む）を必要とする対象は年令も疾患も多種多様となってきたため、  
地域でもチームで支援する必要がある。

日頃より残薬管理や処方提案をしていただき、感謝しており、こちらからの質問や  
相談にも気軽に対応していただいております。患者様からの質問にも真摯に対応していただ  
き、患者様を中心としたチームケアができていると考えます。

バイタルリンクを使って連携できる場合は良いが、そうでなければ、連携を取れる手段も  
なく、という状況に思われます。FAXで処方内容を送って下さる薬局もありますが、その  
他は一方通行の様に思われます。おくすり手帳へも薬剤師の方がちゃんと貼って下されば  
少しは処方薬を順をおってこちらでも理解できるかと思う事があるので、利用者（患者）様  
へ渡すだけはやめて頂きたいと思えます。

訪問薬剤管理指導報告書を送ってくれている薬局もある。報告書やTEL等で連携がとれて  
ば良いと思われる。

医師との連携をとり、相談しながら援助してほしい。確実に服薬できる方法を一緒に考え  
てほしい。

飲み忘れ、残薬が多い利用者に対して、共に服用状況の把握や相談のできる場や関係づく  
りができればと思います。

**○ 自由記載（理学療法士 介護老人保健施設等）※代表的なものを記載**

問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

- E 特になし等 1件  
その他 2件

お薬手帳や薬の説明されたプリントを持っていながらCの状態の人が多く感じます

問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。

- E 特になし等 1件  
その他 1件

問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。

- E 特になし等 2件  
その他 3件

在宅の方がどこまで関って頂けるのか、配薬時の説明以外どんな事をして頂いているのか解らない。

介護保険下ではほとんど関わりがなく、連携を取ることがない。連携を取るのは病院等のかかりつけ医となる。

スポーツ現場でお会いする薬剤師の方は専門的な勉強をされています。

問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。

- F 特になし等 0件  
その他 0件

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。

- D 特になし等 1件  
その他 0件

問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

- 特になし等 3件  
その他 7件

老々介護の家庭や認知機能低下もしくはご高齢で難聴だったり理解力の低下が少しでも認められるような方には1つの袋に入れたり通所利用するであろう昼に薬をかためる等個々に対応をお願いしたい。

薬剤の処方時には、副作用について簡単に説明するも、その後、副作用が出ているか実際に確認していない。（認知症状、転倒歴、睡眠症状など）

高齢の方がよく服用されている薬についての勉強会を開催してほしい。

問3で回答した通り、薬剤師・薬局との直接のやり取りが介護保険下ではほとんどないため、ケアマネージャーが行う、サービス担当者会議に薬剤師も参加し、薬の効果・作用等の説明や注意事項等を話し合えれば、在宅医療の強化、自立支援強化が図れると考えております。

我々との接点がないため、必要な情報交換ができない場合が多い。

臨床業務において薬等の情報は医師等に聞くことが多く、薬剤師に聞くことは少ない。医師と同等以上に薬の知識を有し、医師よりもていねいで分かりやすい説明をしていただけたら大変ありがたいと思っています。

トレーナー活動時には良い関係性を築けていると思います。これからもよろしく願います。

**○ 自由記載（管理栄養士）※代表的なものを記載**

問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

E 特になし等 0件  
その他 0件

問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。

E 特になし等 0件  
その他 1件

問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。

E 特になし等 0件  
その他 2件

現在連携する機会がない。

問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。

F 特になし等 0件  
その他 0件

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。

D 特になし等 0件  
その他 0件

問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

特になし等 0件  
その他 2件

問5のAを実施して下さることが解決方法につながりますのでよろしくお願いいたします。

栄養指導の中で服薬状況について疑問になると、主治医に相談、報告している。薬剤師との連携にはいたっていない。連絡しあう”ノート”のようなものがあれば良いと思う。  
ex. 糖尿病手帳のようなもので、記入が出来るもの。

**○ 自由記載（介護支援専門員）※代表的なものを記載**

問1 E

特になし等 2件

その他 6件

一人暮らしで薬を飲んだと言い、隠す利用者がいる。
簡易懸濁法等、利用者に詳しく説明してほしい。お薬手帳があれば、くすりの料金も安くなる事も説明してほしい。
認知で薬剤をフィルムのまま飲んだ方もいました。
かかりつけ医をもっており、アセスメント時にお薬手帳の確認もできる。体調変化時はかかりつけ医の紹介で他病院受診しており連携もとれている。薬が飲めているかどうかは定期訪問時に声かけ確認している。
飲み方がわからず勝手な思いこみで服薬している。シートでもらっても、同様なので必ず、アサ、ヒル、夕等と印字してほしい。
眠れてないとの理由で入眠剤を指示以上に服用し、翌日、ふらついて転倒する。

問2 E

特になし等 0件

その他 17件

居宅療養管理指導を受けている方のみ連携が取れている。
かかっている医療機関で差が大きい。協力連携してくれる所とそうでない所。
院内薬局がまだ多く、院外薬局と比べ、連携が取りにくいことが多い。
医療保険と介護保険がごっちゃになって、なんでもCMに聞いてくる薬局薬剤部が多い。薬剤師や歯科が使う「居宅」とCMの「居宅」の意味がちがうらしく、ややこしい。
利用者に対する担当者会ギのようなものを行ってほしい。
薬剤師の方々平均してプライドが高く、気軽に接しれない。
施設、ホーム入居者の場合、施設、ホームとの話し合いのみで居宅療養管理指導が決まっていることがある。ケアマネに相談がない。
居管で薬剤師が入っている場合は担会に出席してくれている。毎月服薬状況や体調等について報告もある。入っていない場合は薬剤師と直接話し合う機会がない。
高齢者は理解しなくても返答してしまう。帰ってからも忘れていたのできちんと服薬が難しい。どこの薬局で処方されているかCMも不明。
どこまでの支援をしてもらえるのかがわからない。月1,2回の訪問では意味がないと感じている。

問3 E

特になし等 3件

その他 18件

関わっている機カんとタブレット使用し、共有できている。
薬剤師に話をしてもらう時間を勤務時間にほしい。
一度相談したが「おくすり手帳を見て下さい」の一点ばかりでした。
報告書をいただける薬局もあるが、ホームのスタッフからの情報をそのまま記入しただけで、薬剤師が観察すべき、服薬状況等の記載がない。
一包化についてなどもう少し、高齢者がわかりやすい工夫が早い段階で必要ではないかと思う。そこに気付ける人が少ないのでは？CM等が本人や家族に説明した時「そんな事してもらえるんですか？」の声をよく聞く。
主治医等との連携により情報・指示を得ているので特に問題はない
お薬のことは、薬剤師さんでなく、主治医に相談することが多い。
居宅療養管理指導（薬剤師）の加算するため、主治医に相談して導入したが、主治医が居宅療養管理指導（薬剤師）について、あまり理解していなかった。
服薬について電話相談しても、いつも納得のいく回答を頂いた。
患者に対する指導はあるが、理解力に問題がある、忘れる。
相談したらその都度、助言をいただいている。近隣の薬剤師さん等は、相談しやすく、ていねいに対応してくれています。
本人に説明があっても理解出来ない方が多いのでは。
なじみができると相談しやすくなる。
機会があれば相談したいと思っている

問4 F

特になし等 0件

その他 2件

直接連絡できるTEL番号（携帯）等知っていたいし、連絡できるようにしてほしい。  
十分してもらえている。

問5 D

特になし等 0件

その他 4件

薬剤師、薬局を患者が利用した場合の担当ケアマネを確認すること等。またケアマネが薬局について、知っておくシステム作り。

担当者会議にも薬剤師に参加してもらっています。

在宅のケアマネをしているので、薬剤師さんに高齢者の”生活”についてもう少しご理解いただきたい。

問6

特になし等 1件

その他 26件

薬剤師、薬局がどこまで個人に介入していいのかわからない、介入してくれるのかわからない。

ケアマネから積極的に参加・声をかけることで、その利用者の情報が共有できる。また、薬の飲み合わせなどわからない点の説明を受けられる。

少しでも利用者（患者）さまが飲みやすいように分包、日付を入れるなど 中にはカレンダーに配薬して下さり感謝でいっぱいです。

敷居が高いです。お薬手帳が見当たらない時は薬剤師さんが頼りです。話を聞いてほしいです。

ケアマネに気軽に相談、連絡して欲しい。忙しいと決めつけないで欲しい。

患者さまの事を第一に考えてフォローしてあげてほしい。

居宅療養管理指導を算定している薬局に対して、月1回、薬の受け取りに来た家族に対して「本人様はお変わりないですか？」と毎回、薬局の人が質問されるが、直接、本人と面談するなどかわりを持って欲しい。まして施設に入所している本人の事は家族も詳しく状況を知らない事が多い

薬剤師との連携を強く望む。研修会等あればありがたい。居宅療養管理指導（薬剤師）をもっと活用したい。

提供表等を持って行っても、「あっ。はい？」の感じがあり、利用者様のお話を聞こうと思っても、なかなか難しい。

居宅療養管理指導を利用している利用者さんについて、いつも丁寧な報告書を送って下さりありがとうございます。住宅系施設の利用者さんが多いですが、今後、在宅で生活されている方に利用者が増えるよう働きかけていきたいです。

薬局によって地域への関わりに温度差があるように感じます。

同事業所に勤務されている薬剤師さんに、気軽に相談できています。専門的な事から、健康食品の事まで知識も豊富で助かっています。

在宅へ居宅管理指導を行っているなら、CMとのすり合わせ、アドバイス、居室訪問を丁寧に行ってほしい。（サ高住等は施設まかせになっている。）

ジェネリック薬品の説明が高齢者にしづらい。

地域の中にも昔ながらの薬局（高令者が集まって茶飲み話ができる）もあります。こんな所は、私たちケアマネと連携したいが、一緒に茶のみ話をする訳にもいかないし…

独居高齢者の方で服薬確認が出来ず、困まっている。ご自分で管理されている方もおり、服薬の状況把握がむずかしい。

薬局がたくさんあってどこに相談していいのかわからない。主拠点（相談できる所）があれば有難い。

専門（薬によっては名前が違う事あり）的な知識がなく、逆にこちらの知識（最低限）を望まれる事等、学ばせて頂ければと思います。

居宅療養管理指導を取っている薬局を知らない。広報されていない。医師の許可、指示のもと、居宅療養管理指導で薬剤師さん訪問であるが医師も把握していない。

もっと高令者にわかる様に大声で、簡単に説明し、本人の理解の有無を聞いてほしい。

居宅療養管理指導が対応できる薬局が少ない。